

## 近隣の自然の変化に目を向ける No. 52

「おかえり 6 月の花たち : Welcome back, June flowers」

2021 年 6 月 26 日

気づいたらすでに 6 月下旬。関東地方は、梅雨入り(6/14) が過去 10 年間で最も遅かったそうだが、自然界の花々は例年よりも約 2 週間、開花が早かった。結果、5 月中に咲き終えた花々のアルバム作りを優先することになり、6 月の花たちを月末まで待たせてしまった。そこで「お待たせ 6 月の花たち」とすべきが、ボーとしていて朝ドラの影響を受けたタイトルを付けてしまった。

今年は梅雨入り前に**ホタルブクロ**が咲いた。ゲンジボタルが現れる 6 月第 1 週よりも早かった。うれしい事に昨年見られなかった**白い蛍袋**に出会えた。**露草**は梅雨の象徴と言えるだろう。よく目にする最上段の**ムラサキツクサ**は西欧由来種、中央がずばり**ツクサ**で、万葉集に詠われている月草(ツクサ)が改名された。水洗いすると色落ちするので手描き友禅の下絵を描くのにこの花を使って下絵用に使われている日本的な花だ。**シロバナツクサ**は、別名**常盤露草**。南米原産で、最近よく見かける。**露草の仲間**について詳しく知りたい方は以下を参照：<https://pino330.com/archives/22008>

**クチナシ**も梅雨時を彩る花だ。白色の甘い香りの花が特徴、特に早朝は一重も八重も美しくさが際立っている。しかし、翌日には茶色の斑点が現れ、残念は容姿になるのは哀れ。花の世界にも美人薄命の諺があるのか。

3 種の**キョウチクトウ(夾竹桃)**に出会った。原爆投下後の広島で最初に花を咲かせた植物が夾竹桃であった事が有名。排気ガスなど公害にも強く、高速道路沿いに植えられ長期間花を咲かせる。その強靱さから復興のシンボルとされているという。

色違いの清楚な**ハマユウ(浜木綿)**にも出会えた。

3 種のユニークな木の花(**菩提樹、泰山木、合歓**)を 6 月の芦花公園で見ることができて感激。**菩提樹**は蘆花の旧宅の入口に立つ大木だ。開花した姿をここ数年見過ごしていたが、今年はやっと見ることができた。**泰山木**は大木で、大部分の花は上向きで豪華な花の姿を写真に収めるのが難しい。ところが今年は、低い位置で花を斜め下に向けて咲いてくれた。**ネム(合歓)**の木も背丈が高く、赤い糸状の花をクリアに撮るのに苦労させられる。しかし今年は、程よい高さに花が寄せ集まって咲いてくれた。しかも青空を背景となり、一段とその美しさを増していた。